

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・3・5・7組：川上 ） （2・4・6・8組：結城 ）

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動特性に応じた技能や安全についての知識及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康について、自他の課題を発見し、課題解決に向け、合理的、計画的に思考・判断する力を身につけるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけられるようにする。	健康についての自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 数
1 学 期	現代社会と健康 (ア) 健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の成り立ちを身体的・精神的・社会的な観点から理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題や健康における事象について、資料やデータをもとに分析し、課題解決の方法を説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・生徒一人一人が興味・関心に基づき、自他の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。	【知識・技能】 国民の健康課題や健康の成り立ちの理解を深め、適切な生活行動を選び、実践する必要があることを理解し、個人及び社会生活を健康で安全するための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題や健康における事象について、データや資料を基に、他人の意見を聞き、課題の設定や解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について関心を持ち、資料の収集をしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4
	現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 現代の感染症とその予防の原則について、また個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 感染症とその予防について、学習したことを個人及び社会生活と比較、分析し、課題解決に向けて判断することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 感染症とその予防について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・現代の感染症ととその予防の原則に関する正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 現代の感染症ととその予防の原則についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症ととその予防に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症ととその予防について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期	現代社会と健康 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと社会の関わりを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 疾病の予防について、課題解決を目指して、知識を活用した学習活動により、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 疾病の予防について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	喫煙、飲酒、薬物乱用による健康被害について正しい知識を理解し、未成年の健康被害に関するデータや資料をもとに課題を分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 喫煙、飲酒、薬物乱用による身体的・精神的・社会的な影響の理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5
	現代社会と健康 (ウ) 生活習慣病とその予防 【知識及び技能】 健康の保持増進と疾病の予防について、課題解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活のかかわりを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進と疾病の予防について、課題の解決を目指し、科学的、総合的に判断し、説明することができるようにする。	・生徒一人一人が興味・関心に基づき、生活習慣病の資料やデータをもとに自他や社会の課題を分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響が与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・グループ活動を積極的に取り入れ、対話的で深い学びの実現を図る。	【知識・技能】 健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選び、実践する必要があることを理解し、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 健康の保持増進に必要な事柄について、データや資料を基に、他人の意見を聞く中で課題の設定や解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進について関心を持ち、資料の収集をしながら課題を見つけ、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5

3 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進と疾病の予防について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	ろ。	しようとしている。				
	(1) 現代社会と健康 (オ) 精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復には、調和のとれた生活を実践するとともに、早期発見や社会的な対策が必要であることについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、課題を発見し、個人の取り組みや社会的な対策を整理し、科学的な視点から自分の考えを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防と回復について、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・精神疾患の予防と回復に関する正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響を与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 精神疾患の予防と回復についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防と回復について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	安全な社会生活 (ア) 安全な社会づくり 【知識及び技能】 交通事故の要因や防止のためには、個人の精神的な面や車両の特性が関わることで、個人の適切な行動が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 交通社会での課題を発見し、交通事故の現状を踏まえ、資料やデータを分析し、自身の考えを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・交通事故の要因や防止に関する正しい知識を理解し、交通社会における自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響を与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 交通事故の要因や防止の方法についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 交通事故の要因や防止に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会作りについて関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4
安全な社会づくり (イ) 応急手当 【知識及び技能】 適切な応急手当は傷害や疾病の悪化を軽減できること、また応急手当には正しい手順や方法があることなどについて理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 日常の応急手当や心肺蘇生法について、評価、分析することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当や心肺蘇生について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・適切な応急手当や心肺蘇生法の正しい知識を理解し、自他や社会の課題を資料やデータをもとに分析、解決し、自らのライフスタイルに良好な影響を与えることができるよう授業を展開する。 ・生徒の興味・関心や状況に応じて、タブレット端末を適宜活用し、理解の深化が図れるようにする。 ・生徒の発表学習を通じて、プレゼンテーション能力の育成及び知識の理解が深まるよう指導する。	【知識・技能】 適切な応急手当や疾病の悪化の軽減をする方法、応急手当の正しい手順や方法についての理解を深め、個人及び社会生活を健康で安全にするための知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 適切な応急手当や疾病の悪化の軽減をする方法、応急手当の正しい手順や方法に関する個人及び社会的な課題について、データや資料を基に、理解し、課題解決方法を考え、判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な応急手当や疾病の悪化の軽減をする方法、応急手当の正しい手順や方法について関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4	
定期考査			○	○		1	
合計							
35							